

一 質 般 問

一般質問は、六月二十七日（六月三十日・七月三日の五日間にわたり開かれました。

18年度予算、消防力の強化、図書館建設について

原 信義 議員



原 信義 議員

議員 18年度の歳入、歳出総額をおおよそどれだけ見積もっているのか。
松本市長 最終予算の見込額として一七億九六〇〇万円と考
えている。
議員 市民は、合併による行政・福祉サービスの低下ではなく、

その向上を願っているが、当初予算はどう応えているか。
松本市長 基本的に三ヶ町村の行政サービスに要していた額を合算し、その総額をサービス対象に割り当てることとし、事業の必要性、優先性、地域特性などを考慮し、サービスの現状維持もしくは向上を図った予算編成に努めた。
議員 常備消防力の強化は急務である。消防力の整備指針基準からすると現在の人員数は五割から六割。条約定数の八割。火災の第一出動で非番者召集とい



神埼消防署

う常備消防には考えられない体制をとっているのが現状。駅前等の高層建物に対して現在の装備で対応できない。又、家屋密集地、スーパー、工場等の火災への対応も問題点を多く抱えている。
松本市長 欠員については来年度に解決したい。装備不足は他町村の支援を受けて補充対応していく。
議員 市長は早朝に市立図書館建設計画を市民に示すべきだ。
松本市長 来年四月頃までには



神崎市中央公民館図書室

計画をつくりたい。
議員 図書館建設まで現在の図書室を整備、充実することが求められている。電算システム化を急ぐこと、図書購入費を抜本的に増やすこと、職員を増やすことなどが大事。
松本市長 バーコード方式による貸出し手続き及び保有図書の検索管理を行うよう、予算措置をしている。
議員 “元気神埼” は人づくりから。図書館建設、図書室の整備・充実はその大黒柱と位置づけて、取り組むべきだ。

新生神崎市の学校給食と

放課後児童クラブ

白石 昌利 議員



白石 昌利 議員

議員 新市になり学校給食の運営方式は、脊振小学校の自校方式、千代田町での共同調理場センター方式、神崎町での民間委託方式と異なる運営方式を行っています。ですが、これからの運営方式で市長の構想を質問します。松本市長 三町村が同じ神崎市となりましたので、同一の給食方式で、対応と考えています。議員 神崎市内、同一給食方式になるまでの期間において食育の観点から、これまで使用して

いる食器等の整備について質問します。

松本市長 食器等の整備についても、神崎市総合計画の中で検討を重ねながら進めます。

議員 学校給食での『地産地消』の取り組みは、農業従事者が多い神崎市では生産者の喜びが増大し、又、生産者の姿が児童・生徒に見えることで、給食を通して感謝の心が芽生えると思うのですが、『地産地消』の取り組みについて質問します。

松本市長 『地産地消』については、農業従事者、施設園芸の方々に協力を頂き、色々な角度から対応して行きたいと思えます。議員 学校給食における保護者が負担する給食費について質問します。

島教育部長 脊振・神崎・千代

田地区は、それぞれPTAや育友会の経理部会等により、学校給食費の徴収を行なって頂いています。今年度の給食費未納は、現在のところありません。

議員 放課後児童クラブは、共働きをする保護者には不可欠なものです。新市における児童クラブ支援について、市長に質問します。



千代田中部小学校の給食風景



千代田の給食

松本市長 放課後児童クラブの利用状況、施設の老朽化やスペース不足、設備の整備等、調整を行い、その解消に努めて行きます。

新生神崎市の安全、安心対策を 松本新市長に問う

内田 良 治 議員



内田 良治 議員

る危機管理システムの構築を考えている。

議員 市長は河川整備と合わせて、ダムが必要だとされている「筑後川水系河川整備計画（案）」を容認したが、基本的に城原川の安全対策はどう図っていく考えかおたずねしたい。

議員 私は今回の市議会議員選挙に安全で安心な新生神崎市づくりをスローガンとして掲げた。そこで松本新市長に4点を質問したい。第一目は外国からの侵略や地震、台風災害に対しての危機管理はどう対応するのか。松本市長 各種の災害から、市民の生命と財産を守ることは市の責務と義務である。災害発生時の情報連絡体制、発動体制及び災害対策の運営など危機に際し、市民の安全、安心を確保す

松本市長 洪水が発生しないように、城原川の河床の泥土の浚渫工事、堤防の補強工事を要請し、又城原川の流下能力は、整備をしても毎秒330トンと計画されており、660トン相当の降雨に対しても洪水から地域を守る、国の「筑後川整備計画（案）」を容認した。

議員 在来線を利用した、フリーゲージトレインによる長崎新幹線が計画されている。今ま



長崎本線を走る白いかもめ

でより、1日に30本多くなり遮断回数も当然多くなり、交通事故や渋滞の頻度が高くなる。又、遮断機の無い踏切は、廃止しても一部踏切の拡幅をお願いし、安全対策を図ってほしい。

松本市長 安全、安心の面からも努力したい。



城原川の屋敷付近

議員 小学生など、子供が犠牲となる犯罪が、頻発する近年、子供達の安全をどう守るのか。

教育長 今後は不審者対策を含め、交通安全指導の徹底を図ったり、学校、PTA、地域、学校協力組織の見守り隊との連携を図りながら、安全、安心の街づくりを努力したい。

南北の道路整備計画を

どう進めるのか

片江 護 議員



片江 護 議員

議員 市長のマニフェストのなかにも神崎市東西南北道路網整備、特に神埼バイパスの実現を掲げている。私が特にお願いしたいのは、南北道路網の整備(国営千代田線)です。ここは千代田と神埼を結ぶ重要な産業道路として活用すべきだ。

松本市長 私の公約に道路網の整備を掲げています。道路は地域間の交流を支える地域の動脈と考えています。合併に伴ってそれぞれのまちを結ぶ循環的

路がないと感じています。千代田町から神埼町更に脊振町を結ぶ南北の道路が必要と考えています。合併によるインフラ整備として、合併特例債を使って市独自で整備することもできますが、国・県で整備して頂く施策もあると考えています。いずれにしても関係機関と協議を重ね、実現を図りたいと思っています。南北の路線はいくつか想定できますが、どの路線にするかは私たちが決めて、補助事業で国・県にお願いしたいと考えています。

城原川ダム建設容認の報道について

議員 市長は六月十六日NHKテレビの記者会見で「流水型ダ

ム」を容認したと聞く。その真相はどこにあるのか。

松本市長 テレビ報道を見てなかったのが今朝ビデオを見てきました。よいところだけ報道していると思いました。筑後水系河川整備計画(案)にかかる意見を述べたものでありその一

部を報道された。

私の治水対策は一貫しており、あくまでも流域平坦部への洪水がないように整備をお願いするものです。河川整備計画(案)を容認することがダム賛成と報道された、と思います。



国道264号線と国営千代田線との交差点付近

選挙公約について

原 口 ひさよ 議員



原口ひさよ 議員

選挙公約の早期実現について

議員 市長は先の選挙の際『市民の皆さんとの6×4のお約束』つまり24項目について約束されている。すばらしい内容であり市民も期待しているが、財源をどうするか等の問題もある。公約を実現させる為には、年次計画をたて、財政計画をたて、議会は勿論のこと市民にも公表すべきと思うがどのような方針で臨まれるのか。

松本市長 選挙公約の実現については、財政面からも単年度で

は厳しいので、意見のように市の総合計画の中に盛り込み、年次計画をたてて推進したい。また計画の段階については市民の意見を拝聴し、議会とも十分議論させて頂きたい。

学校給食の問題について

議員 市内の学校給食の形態については、神埼地区が「おかず」のみの補食給食で民間委託方式、千代田と脊振地区は「米飯給食」の完全給食で直営方式とまちまちである。学校給食については、いろいろと問題もあるが少子化の進む今日、子供の将来の為に若いお母さん方にも『一括集中した給食センター』の建設を早急に取り組むべきと思うがその方針について。

松本市長 学校給食は同じ給食

形態が望ましいので地産地消、食の安心安全の問題等を保健安全部会、各学校保健安全委員会等に意見を求め「一括集中した給食センター」建設を神崎市総合計画に盛り込んで検討したい。

その他の質問

- ・ 市税等の滞納金の問題
- ・ 補助金のあり方
- ・ 市職員の研修、民間企業との人事交流
- ・ 保育園（保育所）の問題



千代田東部小学校の給食風景

人事、保育園建設事業、 土木行政について

眞崎 貞雄 議員



眞崎 貞雄 議員

議員 女房役である助役は外部の方が、それとも内部昇格を考えているか。
松本市長 就任して2ヶ月が過ぎ業務の多忙さも実感しており、できるだけ早く助役の選任を考えているところです。
議員 保育園建設は保護者と市民も予算計上に喜んでいるが、建設時期はいつ頃か。又、保育士の人事異動については、子供達の心を十分に考えた上で行ってほしい。建設業者は、地元育

成のためにも地元大工さんで地元の木材を使用し、建設をお願いしたい。

松本市長 保育園建設については、境野、城田保育園を統合し、幼児が安全かつ自然に恵まれた環境で、送迎等の利便性と近代的な多機能を備えた保育園として、実施設計まで完了しています。年度内に竣工計画を立てており、来年四月から新保育園に入園していただくよう進めています。発注については、地元業者への配慮を進め、地元の木材は、伐採してすぐは使用できないので、県内産の検討を考えています。

議員 国営千代田線の南北の管理道路の拡幅と県道佐賀外環状線のバイパス問題、田手川と城原川との間の脊振につながる道



県営詫田線法落ち現場

路整備について。
松本市長 南北の管理道路整備、佐賀外環状線バイパスなど既設道路の整備や、県道21号とJＲの立体交差化、平ヶ里交差点改良など併せて、田手川と城原川の間及び城原川の西側にそれぞれ縦の道路を考えており、新たな総合計画に計上し、県県にお願いしながら計画的に進めてまいります。

議員 県営圃場整備事業で整備された、集落内水路の法落ちの補助について。

松本市長 「土地改良施設維持管理適正化事業、土地改良区施行法面整備」工事の事業費10%を予算措置し補助を行うことで、農家負担を軽減しています。

その他の質問
・企業誘致について



県営詫田線

行政改革について

八谷 努 議員



八谷 努 議員

松本市長 現在の勤務評価は評
定者が行っている、将来的には、
個々人の能力・意欲・適正を生
かす事の出来るシステムを考え
ている。

通勤・通学のJR利便性について

議員 町村合併に伴う市職員の
異動による成果と評価について。
松本市長 住民サービスを念頭
におき、個々人の経験等を考慮
しての配置と成っている。早急
に職員が意欲とやり甲斐をもつ
て業務に邁進できる人事配置を
行い、職員の意識の高揚と能率
向上につながる事が大事である
と考えている。

議員 市民の足であるJRへ、
通勤・通学に快速・特急の停車
と増便を要望して行く考えがあ
るのか。

議員 職員の職務遂行について、
自らの業績申告書を提出させ、
資質の向上、成果を人事考課に
生かす考えはあるのか。

松本市長 平成十七年十二月に
JR本社へ出向き、快速電車の
増便と合わせて特急電車の停車
を要請した。又、平成十八年の
知事への一括要望の中にも快速
電車の増便等を行っており、神
埼市として改めて再度JR九州
へ要請に行く考えである。

議員 新幹線長崎ルートに伴い、
神崎市として平ヶ里踏切の安全
性から、高架が必要と考えるが、
その事についてどう対処される
のか。



平ヶ里 踏切



JR神埼駅

松本市長 新幹線西九州ルート
は、現在より三十本増えること
で安全面に不安が高まるものと
考えられる。現存の踏切の拡幅・
平ヶ里踏切の立体交差化につい
て、国・県・JRに対し安全対
策を含めて、強く要請を行って
いく考えである。

市内巡回バスの実現について

市長 「重要性は認識しているが、問題は財源」

福田 清道 議員



福田 清道 議員

議員 市内巡回バスは、まちづくりの上からも重要な役割を持つている。市長も、市民の安全性の向上、高齢者福祉の推進を選挙の公約に掲げている。既に合併前より脊振地区では、通学巡回バスとして実施している。ところで、市内の神埼町、千代田町、各地区を見ても公共交通機関（バス、電車等）の利便性が悪い地区が数多くある。特に高齢者を始め、運転免許を持たない人などは、毎日の生活に大

変不便をされている。また小学生などの通学の安全性からも、巡回バスは是非必要である。中野企画部長 高齢者等、交通弱者の生活支援や、小中学生の防犯対策上大変有効であることは認識しているが、多額の経費が要るので十分検討しなければならない。

松本市長 高齢者、交通弱者の人達にとつては、この巡回バスは当然考えられる。脊振地区については予算を計上している。神埼、千代田地区も実施をと言われるが、多額の金が必要なので、財政面の慎重な検討が必要である。



国道264号 嘉納バス停付近

通学路の安全点検について
野口建設部長 危険箇所を調査し、改善に努力する。

議員 市として、全校区の通学路安全対策、点検はどのように実施し、その改善計画はどう立てているのか。現場を市長は歩いて調査すべきだ。



脊振町のスクールバス

松本市長 現場を職員と一緒に歩いて確認をする。
野口建設部長 危険箇所調査については、区長さん達に協力をお願いし、改善計画を立てる。

ダム建設に反対し

ダムに頼らない治水対策

守屋 健二 議員



守屋 健二 議員

のか。

松本市長 流水型ダムに賛成とか反対とも申してない。私の考えは、一貫して城原川下流域の洪水がない治水対策であります。

議員 筑後川水系河川整備計画案には「城原川上流にダムを整備する。」と書いている。同案に同意したことは、ダム建設を認めることになる。

松本市長 計画案にはそう書いてありますが、ダムを造って欲しい、という発想ではない。

議員 長い間、水没地域の皆さんには大変心痛を与えてきた。ダム建設中止の時でも、十分な補償をし、生活基盤が安定する対策を優先すべき。

松本市長 現時点では造られる、造られないの判断は出来ない。

議員 ムダと環境破壊のダム建設をやめて、ダムに頼らない治水対策が河川審議会等の答申だ。先人の知恵と歴史が息づく魅力ある城原川を次世代に引き渡すことが重要。

市長は「城原川の治水対策は広く住民の声を拝聴し、その声を尊重し、自然環境に配慮する。」と述べている。ところが県の要請に対して、ダム建設を含む計画案に同意した、と新聞等が報じてる。市長はそう答えた

水没地域の皆さんの要望、対策については、国、県との連携をとりながら対応していきたい。

議員 ダム建設に伴う財政負担は、市の財政に大きな影響を与えることが心配される。嘉瀬川ダムに伴う佐賀市の振興計画費

は、総額約八百五十九億円とも聞く。

松本市長 ダム建設にかかる費用負担ですが、目的が洪水調節と不特定用水ダムですので、市の負担はないものと考えます。



城原川（直鳥橋より上流をのぞむ）

合併後の行財政改革を

どう考えているか

宮島 清 議員



宮島 清 議員

議員 合併をして、どの様な行財政改革を具体的に考えているか質問する。

先ず、市民が現況に納得出来る組織、機構になっているのか、次に現在の総合支所方式を将来的にどう考えるのか。又、職員二人に一人が係長以上の管理職者で占める現状を、財政難対策として、効果的な級別定数制度で人件費の抑制策として検討すべきではないか。

吉村総務部長 新市での事務機

構組織の基本方針を掲げてスタートしたが、効率的運営が図りきれない面が見えてきています。本庁と支所との関係、人員の配置やその他で課題が出て来ており、今後速やかに検討対処する必要がある内部検討委員会などの設置で取り組み対応したい。級別定数制度については現時点では、その検討までに至っていません。

あんま、はり、灸施術費助成制度について

議員 この制度は、年々増加する医療費の抑制にもつながる病気・治療の予防という効果を持つとも言われており、利用者にとっては大変ありがたい制度ですが、新市になって変更改正し

たものは何なのか。

松田市民部長 国保財政が大変厳しい中、旧三町村とも実施していた事業については基本的に継続し、何れかの町村のみ実施していた事業は急激な税の負担増を避ける為、一旦廃止したが事業内容や制度は今後見直したい。

神崎地区消防本部の消防行政について

議員 消防本部の組織体制・署員の使命感や危機管理意識は、十分発揮されているのか。
松本市長 住民から信頼され安心安全を第一義とする消防組織を、今後は徹底して目指したい。



神崎市役所 本庁舎

児童・市民の安全対策は万全か

木原 けんじ 議員



木原けんじ 議員

議員 「防犯灯の設置について」

市内中心部は明るいですが、一歩外に出れば、各地区間や各集落内は真つ暗闇である。今後の設置計画はあるのか。

吉村総務部長 設置については、三町村の取り組みが違う為、現在そのあり方について検討している。方針が決まり次第、防犯灯に係る予算の補正をお願いしたい。

議員 予算的な問題もあるが、他の地区では支援オーナー制による募金活動を実施し予算を捻

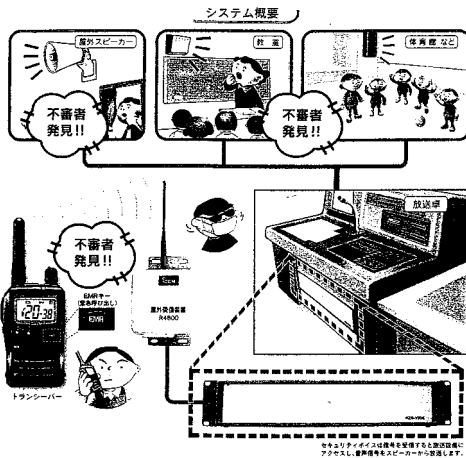
出しているところも在り、ひとつでも多くの設置を望む。

次にAED（自動体外式除細動器・心肺停止した患者の心臓に電器ショックを与える救命装置）の設置計画はあるのか。

松田市民部長 現在神埼郡医師会より貸与いただき、保健センターに設置している。本年度二台分を設置予定である。

議員 各小・中学校の緊急通報システムの設置計画はどうなっているのか。

島教育部長 現在、千代田の三小学校に設置しているのみで、千代田中、神埼、脊振の小、中学校には未設置である。今のところ三つのシステムが考えられ、機種や導入時期については、皆様の意見を拝聴しながら早い時期に決定し導入したい。



各小中学校に導入設置予定の緊急通報システム。



防火用水の保守確保のためにも、各種の補助金を利用しての内水面及びクレークの浚渫・水草除去が必要である。

議員 次に防火用水路の保守点検・確保はどのように行っているのか。

吉村総務部長 地元消防団の予防査察又は地区により点検確認され、また一体となって浚渫等により確保されている。しかし旧三町村の自治体の取り組みも、補助制度、受益者負担制度等その補助率等については違いがあり、今後は給付と受益者負担制

度を整理、統一して取り組んでいきたい。

議員 内水面やクレークの泥土・水草等の浚渫補助金として市では、水草等対策事業補助金（一、五〇〇千円）、地域共同推進事業補助金（三、〇〇〇千円）、農業用排水路水草等対策支援事業委託料（四、三五〇千円）と色々あり是非区長会等で説明実施してもらいたい。

新市における

総合計画の策定状況は

松本 軍二 議員



松本 軍二 議員

議員 地方の時代とも云われ、都市間競争による生き残りの時代ではないか、将来を考えると「まちづくり・人づくり」が大切である。施策決定に広く市民を取込み、市の将来を考える場を要求されるが、行政参加の手段をどう考えているのか。

中野企画部長 地方分権の時代を迎え、真に必要な行政サービスを安定的に提供していくため、各種団体の代表及び一般市民の公募による「行政改革推進委員

会」を立ち上げ、又、合併協議会において承認された「地域審議会」の設置時期については、建設計画の基本構想・各種計画の策定の整理、調査し、十一月初旬の設置を予定している。

議員 これからの「リーディング産業は観光だ」と云われる。市内には観光地史蹟、旧蹟が数多く点在している。棚田・干し柿・有明のり・苺・神埼そうめん等も立派な観光資源であり、これらをアピールすることは地域再生の「起爆剤」となるであろう。観光地等と地元産業との組み合わせによる活性化策について。

牟田産業部長 観光産業は幅広い分野への経済波及効果と成長性を有し、市内には、吉野ヶ里

歴史公園をはじめ豊富な観光資源に恵まれ、観光ルートの整備やネットワーク化・宿泊体験や観光農園などに取り組み、滞在型観光への展開を図っていく。

議員 国、地方を問わず、行財政を取巻く環境は厳しい状況にあり、総務省が全国地方自治体

に通知した「新地方行革指針」には、今後五年間における公務員の定員の純減目標を掲げ、強力に取組む事とされている。

市職員の純減数値目標を掲げた「定員適正化計画書」を作成し、着実に実行される事を要望する。

神崎市政に参画しませんか

神崎市行政改革推進委員募集

神崎市では独自の行政改革を実施するため、より一層のサービス精神と民間経営感覚の意識を持ち合わせながら、真に必要な行政サービスを安定的に提供していくため、「神崎市行政改革大綱」を策定いたします。

そこで市民ニーズに柔軟に対応できるよう、みなさまのご意見を拝聴するため、「神崎市行政改革推進委員」を募集いたします。

神崎市政にご参加いただける方は、応募をお願いいたします。

- 募集人数 7名程度
- 応募資格 ①20歳以上（平成18年4月1日現在）の市内在住者
②年4回程度開催する委員会に出席できる方
- 任期 就任日から2年間
- 業務内容 「神崎市行財政改革大綱」策定の際、重要事項の調査審議をして頂きます。
- 選考方法 応募用紙及び「神崎市政の改革について」と題した作文により選考いたします。（作文は400字以内とします。）
- 募集期間 平成18年6月14日（水）～6月30日（金）まで
- 応募及び問合せ先

神崎市 企画部 政策企画課 企画係 担当：松津・野中
TEL 0952-52-1111（内線243）

- ※ 応募用紙は、下記窓口及び神崎市ホームページにて取得できます。
- 神崎市役所 企画部政策企画課窓口 TEL0952-52-1111
- 神崎総合支所 市民課窓口 TEL0952-52-1111
- 千代田総合支所 総務企画課窓口 TEL0952-44-2111
- 脊振総合支所 総務企画課窓口 TEL0952-59-2111

※ リーディング産業とは…次世代を担う産業

職員の人事異動について

志岐 悟 議員



志岐 悟 議員

職員の人事異動について

議員 合併による人事で職員に非常に不満があり、又、早く本所中心にしないと人が足りず、仕事もスムーズにいけないが、市長はどのような基準を持って人事異動に当たっておられるか、例えば、この職種は三年、あの職種は四年で異動させるといった、基準があるのか。

松本市長 職員を適材適所に配置し、事務事業を円滑に遂行して職員の能力を生かし、希望を考慮して概ね3年～5年を目途

とする。

議員 合併前と合併後の部長課長、副課長係長の役付は何人か。吉村総務部長 職員は、281名で部長10名で役付き職員は、約半数です。

議員 早く本庁中心の組織化をしないと業務がスムーズに出来ないが。

吉村総務部長 一部機能してないので、見直しの検討を考えている。

議員 職員の削減はいつまで計画するか。

吉村総務部長 目標は10年後、職員総数240名台と考えている。

排水路の対応について

議員 土地施設維持管理事業は、牟田産業部長 安定した農業経

営の実現と適正な維持管理を目的として、5年毎の計画を立案し毎年申請し事業を実施します。

議員 神崎市の対策について。

牟田産業部長 土地改良施設維持管理適正化事業神崎市施工法面補修工事として排水能力と道路通行の安全性を図る計画である。

議員 旧千代田、旧神埼で10m水路と10m以上が全長214kmあり、機械導入が必要では。

牟田産業部長 考えて行きます。

集落営農について

議員 集落営農の現状についてどうなっているのか。

牟田産業部長 普及センターの指導を受け研修会、生産組合長会、集団座談会等を開催して、集団推進をしている。

議員 集落営農はさけては通れないので失敗のない指導を、また経営所得安定対策が一番である。WTO、国際自由化の中、関税の引き下げられるのが心配である。



千代田総合支所市民課窓口

助役は早急に選任を 収入役は廃止の方向で

角田 晴 義 議員



角田 晴義 議員

議員 一般質問に入る前に先日事故のために亡くなられた仁比山小田中敦也君のご冥福を心からお祈り申し上げます。

市長は立候補の際、市民と色々約束されましたが、まず産業の活性化について質問いたします。このことでは地元発注率二〇%アップを掲げられていますが、このことは産業の活性化につながることであり、是非実行していただきたい。尚、合併後最初の大型事業である保育園

の工事については、地元企業を起用することが産業の活性化につながることは論を俟たないことです。最大努力して欲しいと思います。

次に人事についてですが、まず助役については如何に優秀な市長にも女房役はどうしても必要です。市民のためにも早急に選出して頂きたい。収入役については来年四月から施行される改正自治法で廃止されます。県内二十三市町で十四市町が収入役は廃止、又は助役・会計課長が職務代行致しています。このことは一千万円以上の経費節減につながります。よって収入役は廃止すべきだと思います。松本市長 産業の活性化は市内にあるすべての生産に携わる

方々の所得を上げることだと考えます。地元産業の活性化については地元発注率アップに努力してまいります。

助役については、今、私の中で心当たりを当っております。今しばらくご迷惑をかけますが、宜しくお願い致します。収入役は来年四月自治法改正で収入役の名称がなくなります。収入役

廃止の方向にある中で、財政改革の一環として人件費削減目的で廃止する考えであります。

その他の質問

- ・行政組織のスリム化
- ・佐賀市蓮池地区農業排水事業終末処理場について



保育園完成予定図

仁比山小学校区への

病院誘致について

佐藤 知美 議員



佐藤 知美 議員

仁比山小学校区の住民にとって医療機関の誘致は切実な問題であり、市の積極的な対応を求め

る。中野企画部長 お年寄りの方や小さな子どもを持つ家庭にとっては、医療機関があつて欲しいと思われ

る。県や医師会など関係機関と連携をとり、開業をしようと思われている医師の情報収集や空き病院等の紹介を行い、病院誘致に取り組んでいきたい。

議員 仁比山小学校区内には高塚医院の廃業以来、医療機関が全くなく神埼への公共交通の利便も悪く、高齢者の方々はタクシーに乗り合わせて通院されており、大きな負担となっている。また、小学校や保育所にとつても、子供たちの急なケガや発病にすぐに対応できる医療機関があることが必要であるとともに、医療機関が無いことによる高齢者の不安を取り除く事が求められている。



旧高塚医院跡（仁比山）

教育行政について

議員 学校現場の実情にそぐわない予算の総合割当ては、教育委員会の無責任な姿勢ではないか。

島教育部長 来年度は学校の実態に応じた予算要求を出してもらい、予算の査定をしたい。

議員 学校給食センターの建設

は父母の強い要求でもあり、建設を急ぐべきではないか。市長 給食センター建設に向けて来年度の市の総合計画で具体化した。

議員 不審者対応の緊急通報システムの設置計画は。

島教育部長 早い時期に、全ての小中学校に設置したい。



千代田町共同調理場

行政改革・河川整備について

田原 和 幸議員



田原 和幸 議員

な幅広い意見を吸い上げる様に、志気の上がる人事運営で改革を行って欲しい。職員は、市民に対する奉仕者であると同時に、改革の真の担い手は自らであるという気概を持って戴きたい。

請したい。

更なる合併について

議員 市長が胸に抱く吉野ヶ里との事は、任意の合併協議会等のタイムスケジュールは描いているのか。

松本市長 神崎市からボールを投げたい。来年度早々に計画案の発表を行う為に、今年度検討し、議会等と意見調整を図りた

議員 合併後の課題と、その解消について

吉村総務部長 住民サービスは低下していない。簡素で効率的運営が図れてない面があり、内部検討委員会を設置したい。

議員 その人選について
吉村総務部長 各部からの推薦で、意欲ある職員十五名以内と考えている。

議員 各部代表十五名の各々が横系列のプロジェクトチームを作り、肩書きのない「丸いテーブル」で、若い職員の自由闊達

河川整備について

議員 私の在所は、以前遊水地帯でしたが、最近ほとんど冠水しません。要因は、田手川期成会等の先人達の尽力による改修、三本松川排水場、更に、洪水調節のポンプアップです。城原川増水の場合、三本松川馬場川から城原川へのポンプアップが停止されるので、この流域の住民も城原川の整備については、大きな関心を持っています。

松本市長 城原川堤防整備については常に、国交省と相談、要



神崎小学校学習田オンリーワン事業



蔵戸方面より三本松川排水場

いと考えている。

議員 二度と同じ轍を踏まない様に各方面と十分協議しながら進める様、要望する。

その他の質問

- 食育教育
- 医療制度改革法案成立が市に影響をどう及ぼすか